



ひと、くらし、  
みらいのために

# せみね監督署だより

発行 瀬峰労働基準監督署 (所在地: 栗原市瀬峰下田50-8 電話: 0228-38-3131)

## 令和8年1月発生 of 災害は30.8%と大幅減少に

▶本号では、令和8年4月から努力義務化される高年齢労働者の労働災害防止についてと積雪・凍結による交通労働災害防止の注意喚起についてお知らせいたします。

▶瀬峰署管内における休業4日以上の労働災害発生状況等についてお伝えします。

令和8年1月の瀬峰署管内の休業4日以上の死傷者数は、下記のとおり前年同期比で4人減少、率にして30.8%と大幅に減少しており、死亡災害も令和7年に続いて0件となっています。

令和8年当初は積雪も少なく、転倒災害などが減少したことも災害が減少した要因と思われませんが、3月も引続き、積雪や路面が凍結した場合の転倒災害の防止や交通労働災害の防止に努めてください。

▶令和8年4月1日から高年齢労働者の労働災害の防止を図るため、高年齢労働者の特性に配慮した作業環境の改善、作業管理などの必要な措置を講ずることが事業者の努力義務となります。裏面に事業場における安全衛生管理の基本的体制及び具体的取組について掲載しておりますので、ご確認ください。

### 瀬峰署管内の労働災害発生状況

令和8年2月10日現在

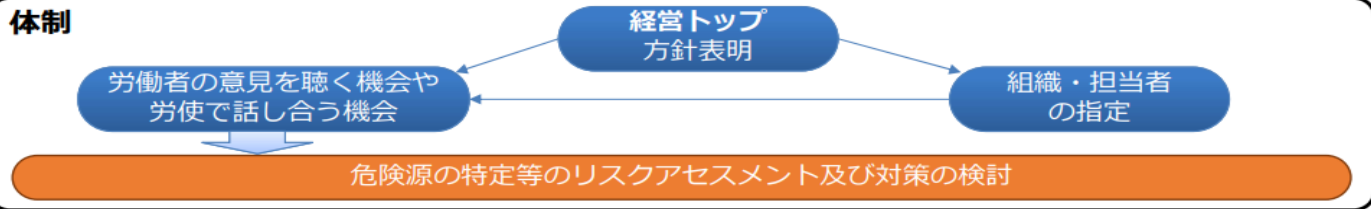
※休業4日以上(新型コロナウイルス感染症を除く)

業種別	令和7年		令和8年		前年同月増減			
	1月		1月		死傷		死亡	
	死傷者数	死亡	死傷者数	死亡	増減数	増減率	増減数	増減率
全産業	13		9		-4	-30.8%		
製造業	2		3		1	50.0%		
鉱業								
建設業	3				-3	-100.0%		
運輸交通業								
貨物取扱業								
農業								
林業			1		1			
畜産・水産業	1				-1	-100.0%		
商業	3		2		-1	-33.3%		
金融・広告業								
映画・演劇業								
通信業								
教育・研究業								
保健衛生業	3		1		-2	-66.7%		
接客娯楽業								
清掃・と畜業			2		2			
官公署								
その他の事業	1				-1	-100.0%		

# 高齢労働者の労働災害防止の推進について

## 事業場における安全衛生管理の基本的体制及び具体的取組

### 体制



### 具体的取組

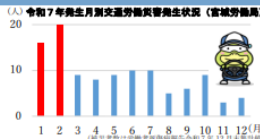
	予防	把握・気づき	措置
場のリスク	安全衛生教育 身体機能を補う 設備・装置の導入 (本質的に安全なもの)	危険箇所、危険作業 の洗い出し	身体機能を補う 設備・装置の導入 (災害の頻度や重篤度を低減させるもの)
	メンタルヘルス対策 (セルフケア・ラインケア等)	ストレスチェック ①個人、②集団分析	職場環境の改善等のメンタルヘルス対策
	健康維持と体調管理	作業前の体調チェック	高齢者の特性を考慮した作業管理
	運動習慣、食習慣等の 生活習慣の見直し	健康診断	健診後の就業上の措置 (労働時間短縮、 配置転換、療養のための休業等)
	体力づくりの 自発的な取組の促進	安全で健康に働く ための体力チェック	健診後の面接指導、保健指導
人のリスク			体力や健康状況に適合する業務の提供
			低体力者への体力維持・向上に向けた指導

# 「積雪・凍結路面の交通労働災害防止」の注意喚起

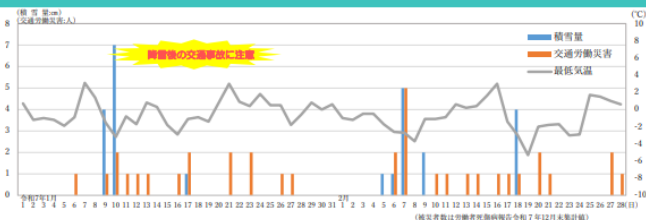
事業主の皆さまへ

## 積雪・凍結路面の交通労働災害を減らしましょう！

宮城労働局管内では、例年冬季に積雪、路面凍結、吹雪による視界の悪化等を原因とする交通労働災害が多発しています。令和7年においても、1月から2月には休業4日以上の交通労働災害(以下「交通労働災害」という)が増加している状況です。冬季の交通労働災害の減少を図るために、冬季特有の交通労働災害防止対策の実施をお願いします。

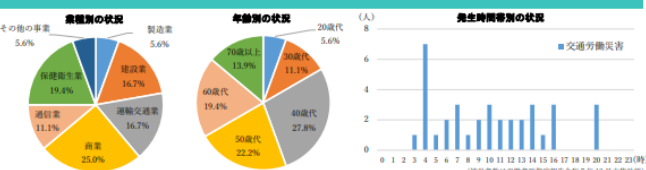


### 宮城労働局管内の交通労働災害の発生状況 (令和7年1月～2月)

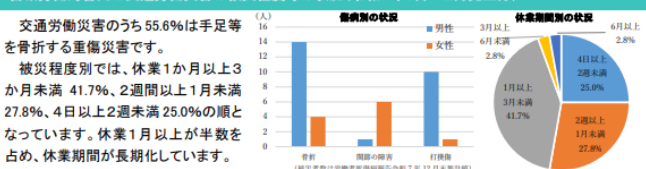


令和7年は、1月9日から10日にかけて大雪となり、仙台では積雪7cmを記録し、積雪、路面凍結、吹雪による視界の悪化等を原因とする交通労働災害が発生しました。気温が低い日は路面凍結が発生し、特に橋は吹きさらしのため凍結しやすく、交差点は路面が磨かれて滑りやすいので注意が必要です。

### 宮城労働局管内の交通労働災害の業種別、年齢別、発生時間帯別の状況(令和7年1月～2月発生分)



### 宮城労働局管内の交通労働災害の被災程度等の状況(令和7年1月～2月発生分)



### 冬季における(積雪、路面凍結、吹雪による視界の悪化等による)交通労働災害防止対策について

#### 気象情報の活用によるリスク低減の実施

- 大雪、低温に関する気象情報を把握する体制を構築しましょう。
- 警報等が発令時の対応マニュアルを作成し、労働者に周知しましょう。
- 気象状況に応じ、出張・作業計画の作成、見直しを行いましょう。
- 気象情報を踏まえた所要時間、制限速度等を考慮し、無理のない運行計画を策定しましょう。
- 異常な天候、豪雪等が発生した場合、正確な情報を把握し、運転者への情報伝達、走行の中止、一時待機等の指示を行いましょう。

#### 特に注意が必要な場所等について

- 橋の上: 吹きさらしのため、凍結しやすく、他の道路が凍結していなくても凍結している場合があります。橋の手前から速度を控えましょう。
- 交差点: 多くの車が通り路面が磨かれ滑りやすくなっています。早めのブレーキを心がけましょう。
- トンネル出入口: 日陰となり凍結していることがあります。トンネル出口の路面状況に注意しましょう。
- ホワイトアウト: 強風時の地吹雪や、雪粒子の太陽の反射により発生することがあります。遭遇した時は、減速し、車間距離を確保、ライトやハザードランプを点灯し、周囲に自車の存在を知らせましょう。

#### 冬用タイヤ、タイヤチェーンの使用等について

- 冬用タイヤについては、年月が経過すると硬化し性能が低下します。製造年月や硬さを確認し、長期間使用しているもの等は交換しましょう。
- 冬用タイヤには、プラットフォームがあります。プラットフォームが表面に出てきたものは交換しましょう。
- 路面凍結、降雪等路面状況に応じて、タイヤチェーンの使用を検討しましょう。

#### 冬季運転時の注意について

- 積雪、路面凍結時は速度控え目で走行し、普段より車間距離を長めに確保しましょう。
- 急のつく動作(急発進、急ハンドル、急ブレーキ)は避けましょう。
- 窓ガラスが曇ったときはエアコンを使い、窓ガラスの曇りをとって視界を確保しましょう。
- 他車からの視認性向上のため、早朝、夕方などは早めのライト点灯をしましょう。

#### 安全教育等の実施について

- 交通法規の遵守、睡眠時間の確保、体調維持の必要性について雇入れ時等の教育を行いましょう。必要に応じて、指導役が添乗し、実地指導を行いましょう。
- 睡眠時間の確保、交通事故発生情報、ドライブレコーダーの記録などから判明した安全走行に必要な情報に関する事項などについて安全教育を行いましょう。
- イラストシート、写真などを使って、危険性を予知し、防止対策を立てることによって、安全を確保する能力を身につけさせる交通危険予知訓練を行いましょう。